



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立北野台中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

◆1・2 学年国語科「POP 制作」

<ねらい> 読書の楽しさを伝えよう

・読書を楽しみ、その魅力を伝える。

< 取組 >

- ・紹介したい図書を選択する。
- ・POP に伝えたい情報をまとめ、デザイン構成を考える。
- ・出来上がった POP は、近郊の書店に展示。
- ・完成した POP を紹介するスピーチを他学年間で実施。



◆図書局「本の魅力をもっとたくさんの人に届ける」

<ねらい>昨年度に引き続き、図書局便りや、ポスター、装飾物などの作成の他、図書局ラジオなどの活動を通して、本の魅力を多くの人に伝える。< 取組 >今年度の秋の読書週間は、3 年生が中心となってイベント「図書ビンゴを企画し、局員が協力し合うことで、たくさんの生徒が参加してくれました。



学習センターとしての機能

◆1 学年「『生き方』を考える

総合的な学習の時間

<ねらい>

- ・自分のよさや個性に気づくとともに、他者の個性にも気づき互いに尊重しようとする気持ちをもつ。
- ・職業について知るとともに、将来に対する大まかな夢やあこがれをもち、夢の実現に向けて努力する姿勢を身につける。
- ・「調べ方」について学ばせると共に、学習内容の効果的なまとめ方や発表の仕方を身につける。

< 取組 >

- ・「自分や友達の特徴を見つけよう」
- ・「自分の個性を生かそう」
- ・「職業について考えよう」
- ・「いろいろな職業」
- ・「職業調べの準備をしよう」
- ・「職業について調べよう」
- ・「効果的にまとめよう」
- ・「発表の練習をしよう」
- ・「発表会」
- ・「学習のまとめ」



写真は「効果的にまとめよう」の様子

情報センターとしての機能

◆1 学年国語科：「図書館の利用の仕方」

<ねらい>・図書館の利用規則と日本十進分類法の理解。

< 取組 >・図書の並び方を知り、読んで見たい図書を借りる。

◆1 学年社会科：「情報リテラシーを身につけよう」

<ねらい>・社会科をはじめとする調べ学習などで、各種資料を引用したり参考にした場合は、出典を明記する習慣をつける。

・入手した真偽の不確かな情報に振り回されることなく、情報を慎重に扱う姿勢を身につける。

< 取組 >・図書資料やインターネット上の資料を引用したり参考にした場合は、出典の書き方を学ぶ。

・物語文を聞き、人づてに聞いた不確かな情報がどのような伝聞表現を用い、拡散していくのかに注意し、その伝聞表現や伝聞情報の拡散の仕方を書き留める。

・災害時にデマ画像が拡散された、ある事件を伝える「まな bell」の記事の内容を聞く。

・情報の真偽を判断する前に、発信者の意図や発信の目的の他、複数のメディアを比較するなどして書誌的事項などを確認する習慣をつけることを学ぶ。